

2025 年度 九州若手数学賞（受賞理由の確認）2名

第 14 回九州若手数学賞受賞者と受賞題目・受賞理由

1. 隅部 哲・九州大学 マス・フォア・インダストリ研究所・学術研究員

業績の題目： 整数論的な観点からの超幾何関数の研究

受賞理由： 隅部氏は、整数論を専門とし、代数多様体の合同ゼータ関数という数論的な特殊関数を有限体上の超幾何関数という解析を由来とする特殊関数で表すという分野横断的な研究を行っており、査読付き学術誌に 3 編の論文を発表している。超幾何関数論や代数幾何学の精緻な手法を駆使して整数論的ゼータ関数の性質を解明するという独自性の高い研究であり、今後が大いに期待される。このように同氏は、九州地方における若手研究者として、受賞するに相応しい十分な研究活動を行っている。

2. 吉住 嶽・九州大学マス・フォア・イノベーション連係学府・博士後期課程3年

業績の題目： 2 次元同種写像計算の効率化と暗号応用

受賞理由： 吉住氏は、2 次元アーベル多様体間の同種写像計算アルゴリズムの研究を行っており、同種写像暗号の実用化を後押しする優れた研究成果を論文として発表している。アーベル多様体間の同種写像を構成することは、耐量子計算機暗号の一種である「同種写像暗号」の構成・安全性解析において重要である。SCIS2025論文賞の受賞経験があり、今後が大いに期待される。九州支部例会での講演も含む同氏の研究活動は、九州地方における若手研究者として、若手賞の受賞に相応しい。